

学校教育目標	「自分が好き、友だちが好き、学校が好き、このまちが好き」 ～心豊かに学び合い、ともによりよく生きようとする子ども～				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 共に学び合い、身近なことから問題を見付け、最後まで粘り強くやり遂げる子どもを育てます。(知)</li> <li>○ 自分のよさに気付き、相手のよさや違いを認めて、心豊かに行動できる子どもを育てます。(徳)</li> <li>○ 食育を通して、自分の体や成長に関心をもち、心身ともにたくましく生きる子どもを育てます。(体)</li> <li>○ いずみ野のまちや横浜を愛し、人々や自然から学び、よりよい社会をつくる子どもを育てます。(公)</li> <li>○ 横浜や日本の伝統や文化を知り、世界や地球環境に目を向け、様々な人々と共生しながら自分たちの未来を拓く子どもを育てます。(開)</li> </ul>				
学校概要	創立 45 周年	学校長 齋藤 敦子	副校長 中村 好宏	2 学期制	一般学級：12 個別支援学級：3
	児童生徒数： 316 人 主な関係校： いずみ野中学校 新橋小学校 阿久和小学校				

<p style="text-align: center;"><b>教育課程全体で 育成を目指す資質・能力</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>いずみ野中 ブロック</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組</b></p>
<p>〈持続可能な社会の創造に貢献する力〉 〈協働して課題解決する力〉 〈思いや考えを表現する力〉</p>	<p>いずみ野中学校 新橋小学校 阿久和小学校 いずみ野小学校</p>	<p>「夢の実現に向かって」 ・学びの目標の実現に向かって、挑戦し続ける子ども ・自他の違いを認め、進んで人とかわれる子ども ・自尊感情を高め、自信をもって生きていく子ども</p> <p>【取組目標】 小中一貫教育の推進を図り、繋がりのある小中一貫教育の推進を行う。 ①児童生徒一人ひとりの理解や情報交換の充実を図り、9年間つながりのある個に応じた教育の継続 ②各教科における授業のつながりと一人ひとりの特性を意識した指導内容の充実</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">中期取組目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子ども一人ひとりを大切にし、地域・家庭・学校が連携、協働しながら、まちとともに歩む学校にします。</li> <li>・ 学習の楽しさを実感できる授業作りを推進し、子どもの発見や表現を大切にしなが学力を向上させます。</li> <li>・ 「人」とのつながりを大切にし、地域の財を積極的に取り入れた豊かな体験を通して、まちを愛する心を育てます。</li> <li>・ 一人ひとりが自己有用感をもち、安心して生活できる学校作りを進めます。</li> <li>・ 健康な心身をつくるための生活習慣が形成できるようにします。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

重点取組分野		具体的取組
知	生きてはたらく知	<ul style="list-style-type: none"> <li>①主体的・対話的で深い学びを通して目指す姿(具体的な姿)をはっきりさせて重点研究に取り組んでいく。</li> <li>②定期的にカリキュラムの見直しをしていく。</li> </ul>
担当	重点推進	
徳	豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> <li>①たてわり活動を充実させ、異学年同士のつながりを深める。</li> <li>②地域と連携した生産活動を通して、出会った人とのつながりについて考えながら、心豊かに行動できる子を育てていく。</li> </ul>
担当	特活部、道徳部	
体	健やかな体	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自己の生活習慣の改善ができるように家庭と連携を深めていく。そのため、情報発信を意図的、計画的に行う。また、実態に合った目標設定をしていき、自分事として振り返りを定期的に行うようにする。</li> <li>②体育学習では、主体的に課題発見や解決ができる子どもの育成を目指し、楽しさや学び方を習得できるような授業の充実を図る。</li> </ul>
担当	体育部、保健部	
公	生産活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>①全校で取り組む生産活動をSDGsと関連付けながら、子ども自らがよりよい環境について考える機会を設け、意識を高めていく。</li> <li>②全校で取り組む食育活動をSDGsと関連付けながら、子ども自らが食について考える機会を設け、意識を高めていく。</li> </ul>
担当	生産、食育	
いじめへの対応		<ul style="list-style-type: none"> <li>①定期的ないじめ防止対策委員会や必要に応じて開く会議によって情報共有しながら、いじめの早期対応・未然防止に組織的に取り組んでいく。</li> <li>②年2回のアンケート調査や面談によって児童の実態を把握し、些細な変化を見逃さない体制作りと、他機関との連携を図るようにする。</li> </ul>
担当	児童支援委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		<ul style="list-style-type: none"> <li>①全職員が意欲的に業務に取り組めるような環境作りやコミュニケーションの充実をさらにやっていく。</li> <li>②グループウェア(ミライム)を組織的に活用し、検討や対応について、手順や段取りを明確にする。</li> </ul>
担当	教務部・メンターチーム	
地域連携 学校運営協議会		<ul style="list-style-type: none"> <li>①新しい生活様式や地域の世代交代を見通し、学校運営協議会や保護者と連携してPTCA活動のあり方を見直し、持続的に児童を支援できる体制づくりと支援内容の精選を行う。</li> <li>②ホームページの内容のさらなる充実を図り、児童の様子や学校の考えを積極的に発信していく。</li> </ul>
担当	地域連携	
特別支援教育		<ul style="list-style-type: none"> <li>①支援を必要とする児童について保護者や関係機関と連携して個別の支援計画・指導計画を作成し、具体的な支援を行っていく。</li> <li>②横浜センター的機能を利用したコンサルテーションや研修を通して、特別支援教育についての理解を深める。</li> </ul>
担当	特別支援委員会	
児童指導		<ul style="list-style-type: none"> <li>①学年や専任、関係職員との間での情報共有を密にし、適切な指導、支援を行う。</li> <li>②毎月の職員会議で配慮児童の状況や効果的な対応について共通理解を図り、全職員での共通した対応を継続していく。</li> </ul>
担当	児童支援委員会	
a15		
担当		